

ひのまちトーク 2026 報告書

@生活・保健センター

日野市企画部地域協働課

開催の経緯

地域懇談会の参加者等から、自治会同士の交流や情報交換の場の要望が多数あり、令和3年度から自治会交流会を開催しています。今年度も開催にあたり、市主導ではなく、自治会主導での交流会とするために交流会の内容や企画・運営にいたるまでを一緒に行っていただける、自治会員を広く募集し、13名の応募があり、交流会へ向けての運営委員会を2月からスタートしました。

目次

1. 開催概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ページ
2. ひのまちトーク 2026 当日の様子等・・・・・・・・・・ 3 ページ
3. アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 ページ

1. 開催概要

開催日 令和8年6月6日（土）

開催時間 午後1時30分から午後3時30分

会場 生活・保健センター 集会室、301・302 会議室

1 ひのまちトーク概要

テーマ あなたにもできる、これからの自治会

従来の自治会を取り巻く主な課題として担い手の高齢化、会長や役員がずっと同じ人、高齢化が進み「若い人が入ってこない」「引き継ぎ手がない」など、自治会で抱えている課題や問題点を共有しながら解決方法を探る機会を作ります。

また、自治会固有の問題点も聞き出す機会を作りながら自治会活動の機運醸成を図るために開催した。

2 講演内容

① デジタル化について(20分)

自治会ホームページ作成・自治会 LINE の活用方法など具体的な内容を講演

講師:運営委員

② 防災士について(10分)

防災訓練などの事例から防災士の必要性等を解説

講師:防災安全課職員

情報・意見交換会

参加者を4地区 ①一中・坂中 ②二中・四中 ③平山中・七生中 ④三中・三沢中
で、別れていただきテーマを決めずに参加者は胸に興味ある内容(防災・防犯・加入促進・
イベント・運営・初心者)を記載したシールを2枚以上貼っていただきました。

各班の司会者はシールの内容を聞き取りしながら意見交換を行いました。

4 主催

ひのまちトーク2026 運営委員会 (共催 日野市企画部地域協働課)

2. ひのまちトーク2026 当日の様子

1 参加者数

開催日時	参加人数(人)	参加自治会数(自治会)
令和8年6月6日(土) 午後1時30分から午後3時30分	51	36

オープニング/講演@集会室

○デジタル化について



○防災士について



○交流会の様子

★一中・大坂上中地区@301・302 会議室



★二中・四中地区@集会室



★七生中・平山中地区@集会室

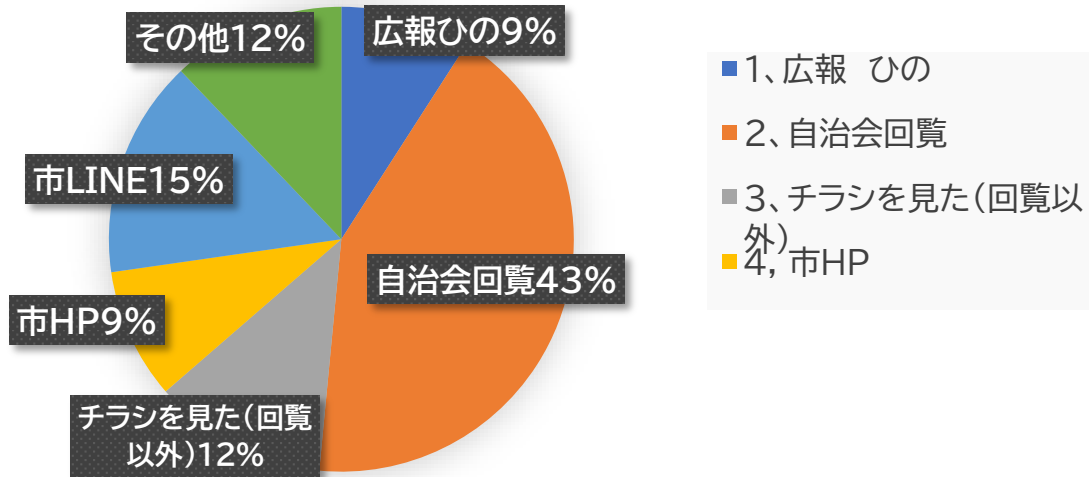


★三中・三沢中地区@集会室

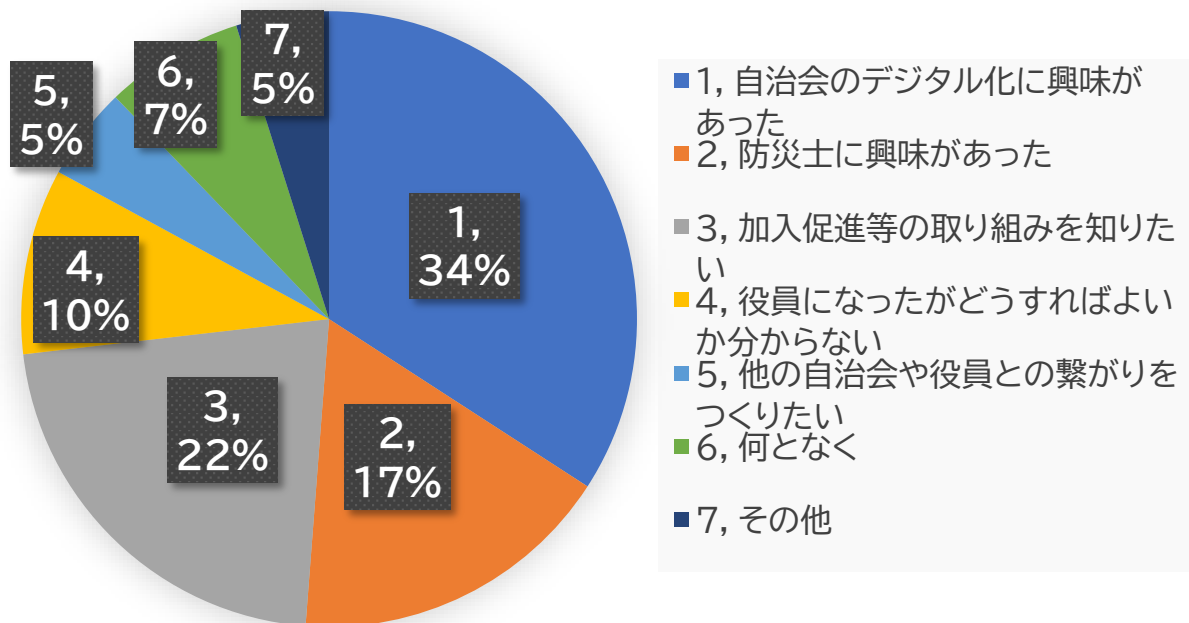


3. アンケート結果

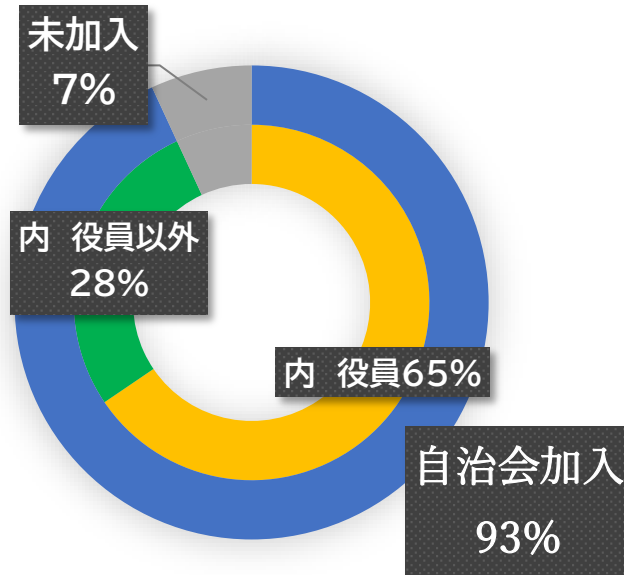
【Q1】 今回のイベントを何でお知りになりましたか？
(複数回答可)



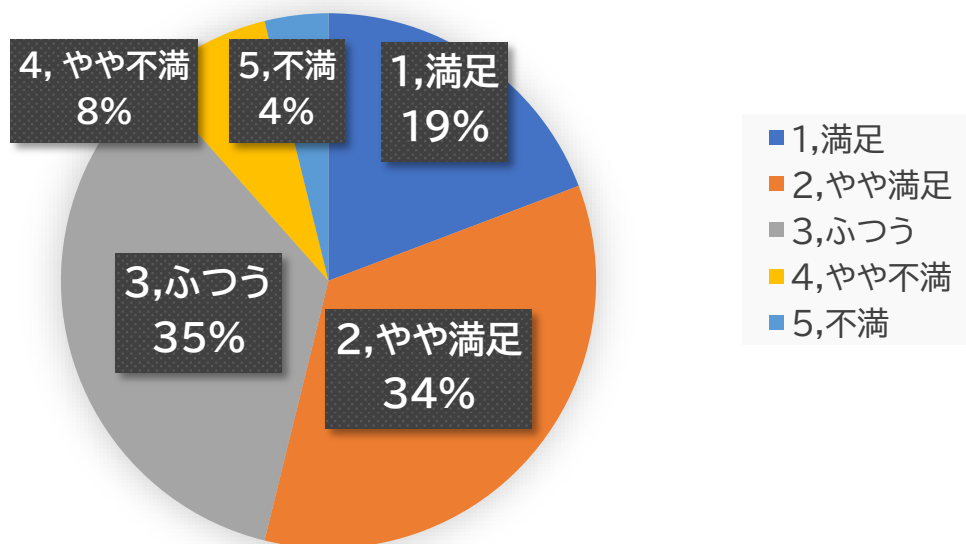
【Q2】 参加理由を選択してください。(複数回答可)



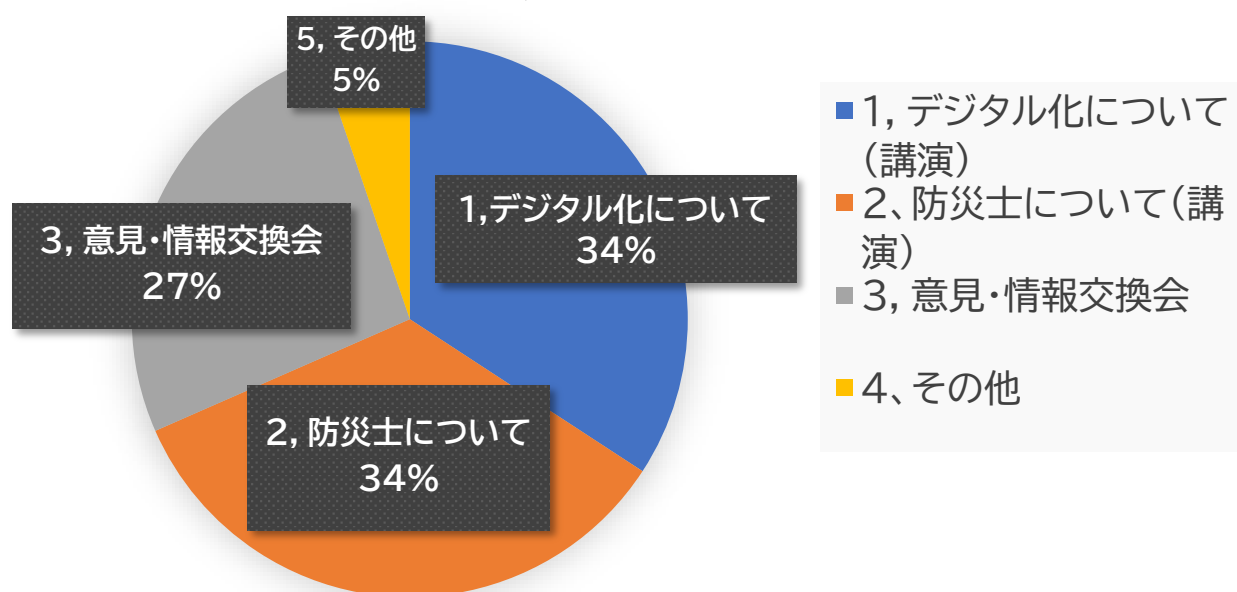
【Q3】 自治会に加入していますか？（「はい」の場合で役員の方は☑を入れてください）



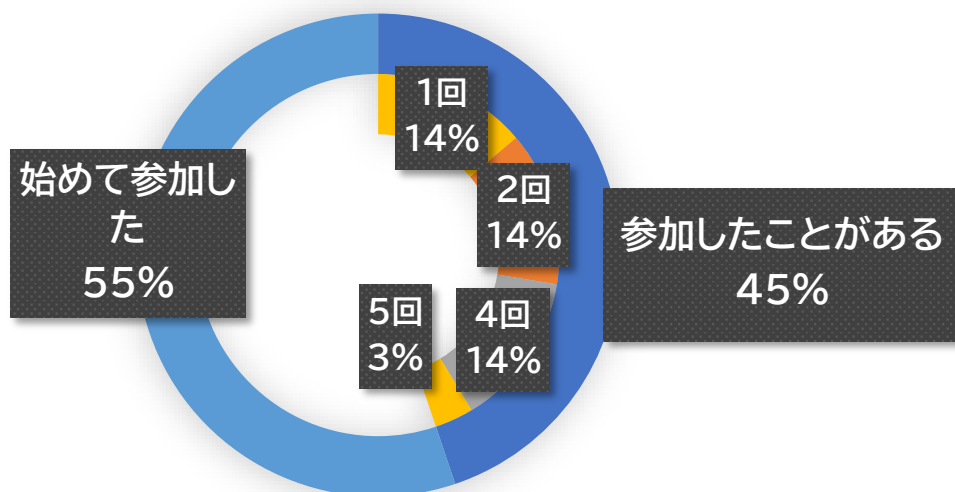
【Q4】 参加してみてもいかがでしたか？



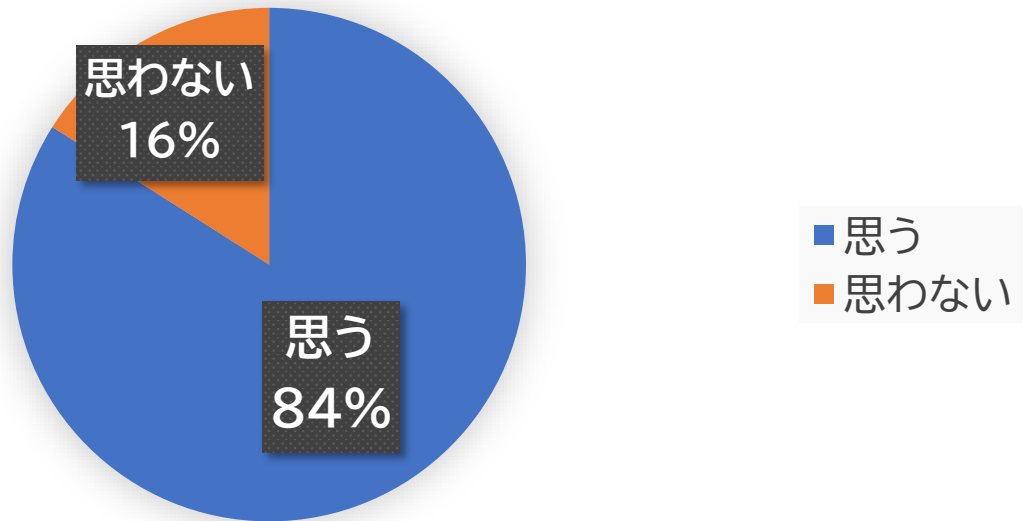
【Q5】 興味深かった内容がありますか？
(複数回答可)



【Q6】 ひのまちトークに過去に参加されたご経験はありますか？



【Q7】 次回実施されたら参加したいと思いますか？



【Q8】 次回の交流会に運営委員として参加したい方はご連絡先を教えてください。(任意)

新たに3名の運営委員参加表明がありました。

【Q9】 今後の「ひのまちトーク」で話したい・聞きたいテーマはありますか？(任意)

- ・加入率がいい自治会の取り組み
- ・地域の繋がり、共助という言葉が大事になっていく昨今。他の自治会が、それぞれどう取り組んでいるか興味があります。
- ・防災のことが話題に挙がりがちだが、個人的には防犯の方が身近に感じている。その点について議論してみたい。
- ・デジタル化とアナログ方式の両立を考えたい。情報の伝達に関してはデジタルが有効だと思いますが、自治会員の方はどうなのだろうか？
- ・防災ネットワーク
- ・デジタル化をしてどうなったか知りたい。
- ・デジタル化の具体的内容
- ・自治会の存在意義について
- ・新しく再開発されて戸建ができて、その人は自治会に入りません。自治会の参加を促す方法。
- ・技術先行している人との結びつき及び連動のきっかけ

【Q10】 自治会について率直にどのようにお考えですか？(任意)

- ・色んな方々が生活スタイルや価値観を持たれる方が、同じ地域に住んでいます。自治会という組織が、人との交流の場として、どういう存在であるべきか、自分自身が答えも持たず 20 年近く加入をしています。今後も引き続き、どう自治会と向き合ったら良いか悩むところです。
- ・決して無くしてはならない組織であるにもかかわらず、メリットが伝わりにくいということで、すぐに不要論が出てきがち。みんなの時間的・心理的な余裕が無くなっている証左だと思う。
- ・自助共助の考え方から役目は大切だと思います。
- ・もっと市から住民に対し、自治会加入の促進をしてもらいたい。
- ・必要性が明確にならない。

【Q11】 本日の感想・ご意見など(任意)

- ・課題意識を持つこと、また共有しあう場は、とても大事な場だと思います。この度は企画、運営ありがとうございました。
- ・埼玉県から来たというのがキーワードになっていた気もしますが、我々が発行している広報誌を一部の人にお渡しできたのが良かったです。ぜひご覧になっていただければと存じます。
- ・それぞれ自治会が抱える状況（高齢者が多いのか、マンションか戸建てか、防犯対策）が異なる中、前提条件の共有ができないまま、自分の自治会はこうだという発表に終止してしまった印象。以前参加した時と同じで、結局持ち帰れるものがない。本気で自治会の課題解決をするには、悩みのある 1 つの自治会や役員を募集して、その自治会の状況をカルテか何かに落とし込みながら、その自治会の役員だったら自分はどうするのか？という立場に立ってアドバイスし合う少人数の相談会みたいなものがよいと思う。
- ・日野市で防災士の講座をやってほしい。
- ・自治会の目的について、もっと議論したかったです。
- ・自治会の役割の見直しから話をするべき。メリットがないから加入率が低い。
- ・意見・情報交換会よくありません。困っている他自治会から取組等を聞きたいのに、全く良くない。
- ・これだけ自治会が集まっているので、なぜ関係性づくりをしないのか。ゴール設定が運営委員の単にやりたいことになっているのが残念。（意見交換は地域交流会でもやっているのでは）
- ・良かったと思います。